

さしはて

最涯の芸術祭、

美術の最先端。

日本列島の特異点

14の国と地域からコロナ後の日本に集結



# 奥能登国際芸術祭2023

会期 2023年9月2日(土) - 10月22日(日) 51日間

会場 石川県珠洲市全域 247.20 km<sup>2</sup>

主催 奥能登国際芸術祭実行委員会

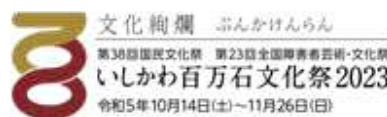
実行委員長 泉谷満寿裕 (珠洲市長)

総合ディレクター 北川フラム (アートディレクター)

助成 文化庁 / 一般社団法人地域創造

特別協力 北國新聞社

後援 北陸放送 / テレビ金沢 / エフエム石川 / ラジオかなざわ / ラジオこまつ / ラジオななお



○翻訳  
・English  
・簡体中文  
・繁体中文

さいはて

# 最涯の芸術祭、 美術の最先端。

本州の中央から日本海に飛び出している能登半島。珠洲はその先端に位置しています。三方を海に囲まれた「さいはて」の地。そんな珠洲には、かつて日本海に開かれた「先端」としての歴史があり、祭りや食をはじめとする豊かな文化が残されています。

現在は「不便なさいはて」でも、視点を変えれば未来を切り開く「先端」になる。この発想が出发点です。「奥能登国際芸術祭」は、国内外のアーティストが珠洲という場所に向き合い、土地に根差した作品表現をすることで支持を集めてきました。そして今秋、3回目となる「奥能登国際芸術祭2023」が開幕します。アーティスト、市民、サポーターが協働してつくられる現代アートと奥能登の風土が響きあい、五感を揺さぶる時間と空間の体験が生まれます。



里山里海



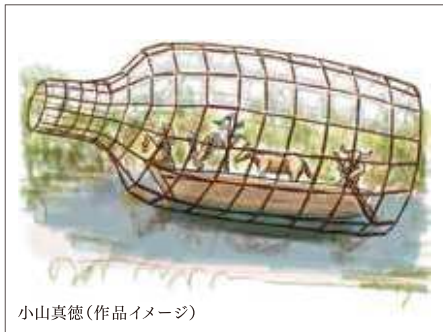
キリコ祭り

## 新規参加アーティスト (2023年3月1日時点)

ハイグ・アフメド(アゼルバイジャン) / シリン・アベディニラッド(イラン・アメリカ) / アナ・ラウラ・アラエズ(スペイン・バスク地方) / 植松奎二 / 牛嶋均 / 梅田哲也 / 奥村浩之 / 小野龍一 / OBI / マリア・フェルナンダ・カルドローゾ(コロンビア・オーストラリア) / ソル・カレロ(ベネズエラ・ドイツ) / 北山善夫 / 栗田宏一 / 劇団三毛猫座 + 熊田悠夢 / 小山真徳 / SIDE CORE / 佐藤悠 / さわひらき / シュー・ジェン(徐震)(中国) / 下浜臨太郎 / 鈴木泰人 / 杉谷一考 / 世田谷シルク / 泰然 + きみきみよ / 田中信行 / 田中浪 / リチャード・ディーコン(イギリス) / ハウ・ファ・ランジーゴン(豪華朗機工(台湾) / 原嶋亮輔 / N.S. ハーシャ(インド) / 坂茂 / ひびのこうえ / アレクサンドル・ポノマリヨフ(ロシア) / 弓指寛治 / 嘉春佳 / 吉野央子(50音順)  
※今後も参加アーティストの発表が予定されています。ご期待ください。



奥村浩之(作品イメージ)



小山真徳(作品イメージ)



N.S. ハーシャ(作品イメージ)  
©Artist and Victoria miro



アナ・ラウラ・アラエズ(作品イメージ)

## 〇ピックアッププロジェクト

〈スズ・シアター・ミュージアムの拡充〉  
市民、アーティスト、研究者の協働によって2021年に誕生した「スズ・シアター・ミュージアム」。地域一帯から集められた民具が語り出すかのような劇場型博物館は、他に類を見ないミュージアムとして市内外から評価され、珠洲の名所のひとつとなりました。

そして、「奥能登国際芸術祭2023」に合わせ、敷地内に建築家坂茂が設計するカフェ・レストランが新設されます。全面ガラス張りの海岸線と平行に細長い構造で、建物のどこからでも美しい日本海を望むことができるようになっていきます。また、民具収蔵庫として使われていた旧保育所は、国立歴史民俗博物館の協力で、「スズ・シアター・ミュージアム」の分館としてリニューアル公開予定です。



カフェ・レストラン新設イメージ



スズ・シアター・ミュージアム  
Photo: Keizo Kioku

〇お問い合わせ

奥能登国際芸術祭実行委員会事務局

〒927-1121 石川県珠洲市飯田町13-120-1

TEL 0766818217720

FAX 0766818217727

MAIL: info@oku-noto.jp



HP



instagram



facebook